

| | |
|----|---------------|
| 公表 | 事業所における自己評価結果 |
|----|---------------|

| 事業所名 | 大津市立やまびこ子ども療育センター やまびこ園 | | 公表日 | 令和8年 3月 24日 | | |
|-----------------|-------------------------|--|-----|-------------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | ・部屋の広さに合わせて、環境設定の工夫をしている。 | |
| | 2 | 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | ・配置基準は満たしているが、職員の産育休の取得により、欠員が出たところにはパート保育士で補充している。 | ・地域支援の充実を図るための人員の確保や人材育成につとめていく。 |
| | 3 | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | ・段差のある場所には色をつけるなど配慮している。 ・駐車場からバリアフリーで保育室まで入室できる。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | ・毎日および適宜清掃している。また、消毒を行っている。 | ・大型遊具の下など掃除ができにくい箇所を園全体で協力して、丁寧に清掃するように努める。 |
| | 5 | 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | ・空きの保育室がある時には、クラス間で調整して使用している。また、廊下も過ごしやすいように玩具など環境を整えている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | ・各委員会、実行委員会などテーマに合わせて会議を行い、ねらいに対しての振り返りを行っている。 | ・業務を効率よくすすめるための方策を会議等で検討し、業務軽減に努めているが、時期によっては書類の作成に時間を要している。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | ・年度末にアンケートを実施している。また、行事や学習会の後に記入してもらった感想を共有し、改善点があれば検討を行っている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | ・クラス会議で出た意見を集約し、必要に応じてリーダー会議や朝礼で検討し、業務改善に努めている。 | ・一人一人の職員の意見を丁寧に把握する時間の確保が課題である。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | ・身体拘束、虐待防止、苦情解決委員会等の際に、外部の委員の方に意見を聞き、業務改善に努めている。 | ・第三者による外部評価は行っていない。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | ・外部からの研修案内に積極的に参加している。また、園内の学習会も計画的に行い、職員の質の向上を図っている。 | |
| 適切な 支援の 提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | ・ホームページで公表している。また、保護者室に掲示している。 | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | ○ | | ・一人一人の子どもについて話し合う時間を設けている。 ・保護者との会話や面談の中で、ニーズを把握して支援計画を作成している。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | ・クラス会議、リーダー会議および総括会議等で子どもの姿を共有し必要な支援について検討を行っている。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | ・計画に沿った支援が行えるように、職員間で共通理解をして支援を行っている。 | |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | ・発達相談員による発達相談を行っている。 ・日々の記録およびOT.PT.STとのカンファレンスを通して共有し支援を行っている。 | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | ・4つの項目を踏まえ、支援の目標を設定している。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | ・クラス担任で計画性をもち、子どもの姿やクラスのねらいに合わせた活動を立案している。 | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---|---|--|
| 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | ・現在のこどもの姿を捉え、その先に必要な支援について話し合い、活動を組み立てている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | ・基本的には集団での療育を行っている。必要に応じて個別の支援のポイントを押さえて行っている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | ・朝礼でその日の活動のねらいと内容を確認している。また管理栄養士、看護師、保健師などの専門職とも役割を確認し支援を行っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | ・その日の療育で気づいたことを出し合い共有している。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | ・日誌および児童票にその日の支援内容を記録している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | ・定期的に会議を行い、支援計画に合わせた支援ができていないかをチームで検討し、必要に応じて見直しを行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 相談支援専門員、児童発達管理責任者、クラス担任など、こどもの状況をよく知っている職員が参加している。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | ・受診やリハビリの後、保護者から内容の聞き取りを行っている。 ・地域の保健師と連携をとっている。 | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | ・併行利用は原則していないが、就園の際には書類での引継ぎと共に実際の療育を見てもらい、支援の内容を丁寧に共有している。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | ・学校見学会には保護者と共に職員も参加している。引継ぎも丁寧に、就学前と後にも訪問を行い、支援についての共有を行っている。 | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | ○ | | ・公立の3つのセンター同士で常に連携を図っている。また、一部の事業所とは連携を図っている。 | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。 | ○ | | ・研修会には積極的に参加できるように、園の体制を整える努力を行っている。 | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。 | ○ | | ・会議には積極的に参加している。 | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | ・地域の幼稚園・保育園・認定こども園とお互いの園で交流保育を行っている。 | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | ・親子保育や懇談会などで、こどもの姿を共有して大切にしたいことを確認し共通理解できるように話し合う機会を持っている。 | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | ・マジックミラーからのこどもの様子を見て解説を行ったり、保護者向けの学習会をテーマ別に年間計画を作成して実施している。 | | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | ・利用契約時や入園後の保護者オリエンテーション時に、説明を行っている。 | | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | ・こどもとは日々の療育のなかで意思確認や選択ができるように、一人一人の思いを尊重し関わるようにしている。保護者とは面談時に意向を聞かせてもらっている。 | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|-------------------------------|--|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | ・項目ごとに支援内容の説明を行い、保護者に同意を得ている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | ・予め決まっている面談の他に、保護者の様子や連絡帳からニーズを把握し、必要に応じて面談を行っている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | ・父母の会活動には積極的に協力している。 ・保護者同士の交流については、制作活動など交流しやすいように企画したり、OB保護者との座談会なども開催している。 | ・きょうだい同士で交流する機会については、今後、全体会議やリーダー会議等で検討する。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | ・契約時に相談窓口について説明している。 ・保護者からの相談などについては、すぐに話ができるように迅速かつ丁寧に対応するようにしている。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | ・年2回通信を発行し、地域に取り組みを知らせている。 | ・SNS等の活用について、保護者の希望があるが、対応できていない。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | ・鍵付きロッカーに管理している。 | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | ・こどもにはわかりやすい短いことばで身振りと共に聞いたり伝えたりしている。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | ・地域住民が参加するやまびこ総合支援センター全体の「おまつりはうす」を開催している。 | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | ・緊急時対応などはオリエンテーションで周知している。感染症対応については体験型の学習会を開催している。 | ・保護者には必要かつ重要な箇所のみ説明を行っている。周知の仕方については検討していく。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | ・定期的に避難訓練を行い、安全に避難できるように確認をしている。 ・BCP計画を策定し、センター全体でも訓練を行っている。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | ・入園前の面接時に看護師、保健師など複数の職員で保護者からの聞き取りを行っている。 | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。 | ○ | | ・主治医からの生活管理表に基づき対応している。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | ・安全計画を作成している。月2回（1日・15日）に安全点検を実施している。 | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | ・契約時やオリエンテーション時に説明を行っている。また、避難訓練参加時にも説明を行い周知を図っている。 | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | ・報告書の作成と共に朝礼で全体周知を図っている。 | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | ・定期的に研修を行っている。また虐待防止委員会での話を共有している。 | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | ○ | | ・学習委員会に位置づけて職員は研修および検討を行っている。 | ・保護者には、オリエンテーション時に説明し了解を得ているが児童発達支援計画には記載していない。 | |